



Vol. 155

2022年7月14日発行
(令和4年)

議会だより

しらたか

6月定例会
山形県白鷹町議会



みんなで育てた かわいい蚕 蚕桑小学校 蚕の飼育

原材料等高騰への対応	定例会概要	2	p
ここが聞きたい	本会議一般質問 4人の議員が町政を問う	4	p
追跡レポート「家庭用蓄電設備への補助」		14	p
知れば得するぎかいのキホン「意見書・決議」		15	p
輝く地域之力 白鷹町の未来を彩る「長谷部真弓さん」		16	p

お手持ちのパソコンやスマートフォンなどで議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。

特別委員会を設置

ふるさと森林公園再整備特別委員会

6月
定例会

9ページに関連記事

6月定例会 概要

- 期 間** 6月9日から16日（8日間）
- 審 議** 補正予算3件、条例改正3件、契約案件5件、議員発議（特別委員会設置）1件
全議案を原案のとおり可決しました。
- 一般質問** 奥山 勝吉 議員「町立病院の今後のあり方について」
丸川 雅春 議員「将来を担う児童・生徒への様々な対策について」
金田 悟 議員「経営所得安定対策の大幅変更に対する対応について」
横山 和浩 議員「今後の観光への取り組みについて」

補正 予算

原材料等高騰への対応が充実

主な項目

コロナ関係

- 検査 ・ 検査費用などの助成
- 経済 ・ 地域応援券 ・ 事業継続給付金
- 地域 ・ 飲食店等応援 ・ 特別支援給付 など

資材高騰

- 学校給食費支援
- 生産資材等高騰緊急支援
- 畜産飼料価格高騰緊急支援

一
般

- 人口減少対策の広報強化
- 深山和紙振興研究センター改修
- 環境基本計画などの策定 など

point



蚕と桑を育てる蚕桑小学校。地域文化に触れながら、すすくと育てて欲しいですね。

蚕を受け取ったのは寒い日で、学校では部屋を暖めて対応したそうです。その後も脱皮に時間がかかるなど心配されましたが、気温も上がり計画どおりに進みました。

6月6日に、蚕の赤ちゃんを受け取った子どもたち。学校が休みの日もお世話を続けて、6月22日に上簇（繭つくり準備）を迎えました。

●蚕の飼育●
無事に上簇を迎えました

表紙

補正予算の 主な質疑

地域おこし協力隊
横山委員 現在募集者の勤務予定先は民間企業のように、町民ほか公益への恩恵をどう考えているか。
企画政策課長 地域との連携を深め、魅力を発信する目的で設立された組織に補助する。地域起こしにつなげていただきたい。

環境基本計画等
横山委員 計画策定と併せて啓発も行うのか。
町民課長 啓発は重要と認識している。機会を見てお知らせし、最終的には町民の皆様からご意見をいただきたい。
木工展示品作成
横山委員 作成委託の内容と、活用方法は。

農林課長 小屋の小屋組作業を行い、模範上棟式を披露したい。
元気な地域農業担い手育成
竹田委員 具体的にどういった取り組みを想定しているか。
農林課長 GPS搭載トラクター導入、精米作業を受託して、米の

付加価値を高めるなど。
庁舎内の感染症対策
竹田委員 どんな課題があるのか。
総務課長 感染症対策やセキュリティ強化について、まちづくり複合施設の在り方を検証した場合には、課題が出てきている。

畜産以外への支援
金田委員 肥料なども高騰している中、畜産以外の農業者に対する支援は考えていないのか。
町長 国の情報を早く入手して準備にあたり、農家経営への圧迫を少なくするよう支援を考えていきたい。

一般会計補正予算の主なもの

地域おこし協力隊活動交付金	457万円
環境基本計画等策定事業	218万円
みどり環境交付金事業（木工展示品作成等）	190万円
元気な地域農業担い手育成支援事業	800万円
災害対策費（感染症対応分）	479万円
住民税非課税世帯等臨時特別支援	2420万円
子育て世帯生活支援特別給付金	950万円
新型コロナウイルスワクチン接種対策	1716万円
深山和紙振興研究センター費	691万円
飲食店等応援緊急経済対策事業	1956万円
緊急経済対策地域応援券事業	7140万円
学校給食費支援	500万円
畜産飼料価格高騰緊急支援事業	1783万円
	など

◎ 財源は、国・県支出金などで対応。

※万円未満は端数調整

令和4年度補正予算総括表

会計項目	補正額	補正後の額
一般会計	2億3563万円	86億8563万円





録画を配信

町立病院の今後の在り方は

町長 安心して暮らせる診療体制を確保する



奥山勝吉 議員

病院管理者の権限

問 補助管理者設置の必要はないか。

町長 今の町立病院の体制の中で求めるものか、今後検討していきたい。

改革プラン

問 改革プランの達成状況はどうか。

町長 指標については達成が難しい状況である。人口減少や道路インフラ整備により、先生方が大勢いる病院を選ぶのは当たり前と思う。達成するためには町民の皆さんの意見をお聞きしながら取り組んでいく。

有限会社ケイエス

しらたか

問 ケイエスしらたかの職務権限と責任は。

副町長 医療事務の職員、調理師職員などの人材確保と安定した採用を目的として設置された。

社員総会でさまざまな協議をし、決定している。

問 ケイエスしらたかの職員教育や危機意識はどうか。

副町長 住民サービスを提供するサービス業だと認識している。患者様、それからお客様という意識で、丁寧な対応が大事である。

町職員の健診

問 町職員の定期健診の在り方は。

町長 診察は、町立病院に行きなさいとは言えないが、できるだけ利用するようお願いする行為は可能である。定期健診は検診センターにお願いしている。

地域包括ケア病床

問 包括ケアシステム病床の利用状況は。

病院事務局長 ケア病床は、1日当たり4人前後の利用状況である。入院日数60日間の上限後は、一般病床への移動も可能である。

病院の赤字対策

問 病院経営において検診事業、人間ドックを拡充すべきではないか。

町長 検診事業や人間ドックについては再度

病院で検討したい。

問 患者様に選んでもらえる病院という努力は。

町長 町民の皆様の求める医療を確保し、持続可能な病院経営に取り組んでいく。

病院の受診予約

問 受診予約のための方法は。

病院事務局長 あらかじめ受付の番号札を取っていただき、対応している。前日夜の12時から番号札を取れるようにしているが、

今後、患者様が受診しやすいように検討していく。

病院へのサイバー攻撃

問 身代金ウイルスの暴挙への対策は。

病院事務局長 ウイルス対策ソフトを毎年更新している。職員にもセキュリティ対策強化のための研修を行っていききたい。



町民から選ばれる病院へ

共助社会づくりに向けた心の醸成は

町長 自他の命を大切にする教育を推進する



録画を配信

共助社会づくり

問 町が課題として捉えている共助社会づくりに向けて、その心を児童・生徒へ醸成することが大切と思うが、いかがか。

町長 教育は未来への投資という姿勢で、さまざまな事業を積極的に進めさせていただいている。自他の命を大切にし、共生社会の実現に向けた教育の推進に取り組んでいる。**教育長** 家庭や地域とともに思いや経験を共有していくことが必要不可欠と考えており、地域、家庭、学校が、子どもを中心に置いて思いを共有し、共生社

会の実現に向けて心を育む教育にしっかりと取り組んでいきたい。

少子化の影響は

問 少子化が進む中で、児童会・生徒会活動などの、組織の運営を学べる多学年にわたる活動の課題をどう捉えているか。

教育次長 社会性やコミュニケーション能力が付きにくくなることが考えられる。そのため、自己の表現や発表の機会を設けることにより、自分の考えや感情をしっかりと表現できるたくましい心を育てていきたい。

不登校の改善対策は

問 成長してから引きこもりになるきっかけの一つとも考えられる不登校の改善対策をどうするか。

教育長 学校と教育委員会との連携を密にし、教育相談員やスクールカウンセラーなどと連携を図りながら、一人一人の実態に応じ、社会的な自立、進路支援、個別の対策を進めていくことで減少につなげていきたい。

通学班の安全対策

問 児童の徒歩通学において、少子化の影響により低学年だけの通学班になることが考えられる。安全対策をどうするか。

教育次長 影響が現れてきており、保護者の方に付き添いしていただいたり、心配な場合はスクールバスを利用していただいたり、き

め細かな対応を行って

充実した歩道除雪を

問 通学路となる歩道の除雪はどう実施されているか。また、充実した除雪をお願いしたいが、いかがか。

建設課長 延長で約25キロメートル実施しており、16の区と委託契約を結んでいる。出動の基準は、地区の判断により出動している。

町長 できる限り登下校に間に合うようをお願いしているが、昨年のような豪雪においてはなかなか手が回らなかった。

また、除雪を担当している方に高齢の方が多いということも、地域の課題として捉え、最善の対応を検討していきたい。

18歳成人への自覚をどう促すか

問 民法改正で成人年齢が18歳に引き下げられた。児童・生徒の自覚を促す対策をどうするか。

教育長 社会と結びついた具体的な消費者・金融教育などを行い、国の主権者として情報を正しく収集し、的確に読み解き、考察し、判断を下せる能力を醸成することが最重要と考え、さまざまな機会を捉えた取り組みを実践していきたい。



丸川雅春 議員





録画を配信

水田活用の直接支払交付金の大幅な要件変更への対応をどうするか

町長 情報収集を行い、撤回を求めていく必要がある



金田 悟 議員

現状認識と方針

問 水田活用の直接支払交付金の大幅な要件変更に対する認識はどうか。

町長 課題が大きすぎ、農業後継者が離農する可能性もあるくらい厳しいものと認識している。

問 今後どのような方針で対応するか。

町長 基盤整備などに莫大な経費もかかり、大きな課題があるため検討させていただきたい。

さまざまな情報を得ながら、撤回を求めていかなければならないと認識している。

交付金額などの推移

問 交付金額などは、近年どのように推移しているか。

農林課長 令和元年度は、交付対象者数が232名、交付金額は1億902万円。令和3年度は、176名、1億1997万円である。

耕畜連携への影響

問 耕畜連携への影響はないか。

農林課長 令和3年度の試算では、金額で6400万円（交付金額合計の約半分）が交付されなくなる。農業者がその農地を借りて耕作できなくなり、農地

の活用面にも大きな影響が出ると思う。

人・農地プラン

問 これから、各地区の「人・農地プラン」による話し合いが重要になってくると思うが、現状と課題は何か。

農林課長 平成24年から、19地区で策定している。狭い範囲のため、地域の実情などを把握しやすく、地域の方々と現状や課題を共有しやすいため、現状の範

囲で策定を進めていきたい。

一方で、中心経営体となりうる担い手の減少により、プランの広域化も検討する必要があると考えている。

農業振興プロジェクトチームの立ち上げと町の支援

問 町の農業全体の在り方を整理しながら検討していく専門的会議体の設立が必要と思われるが、どう考えるか。

町長 今、非常に後ろ向きな農業政策が続いている中で、前向きな形で一歩でも二歩でもプラスになり、地域の活性化にもつながっていくということになれば、大いに応援していきたい。

町長 有効な話し合いができ、どういう形にしていけるかは検討させていただきたい。

問 一つの方向性が出た場合、町としての支援を考えているか。

町長 今、非常に後ろ向きな農業政策が続いている中で、前向きな形で一歩でも二歩でもプラスになり、地域の活性化にもつながっていくということになれば、大いに応援していきたい。



質問の背景

交付要件の変更により農家経営は厳しく

今後5年間（令和4年度から8年度）で、一度も水張り（水稻作付）が行われない水田は、令和9年度以降、交付金の交付対象としないもの。

水田からの現状の収入は以下のとおり

一番の収入は、米の販売金。経費を差し引いた手取りは、町全体で約3.5億円。転作作物（大豆、枝豆、そば等）からの生産物収入。それに、国からの交付金が約1.2億円。

今後、主食用の米の価格上昇も見込めず、交付金がなくなれば、農家経営は壊滅的な打撃を受けることは間違いない状況と思われる。

今後の観光への取り組みについて

町長 平常時に近い状態で開催できるよう、環境整備に
取り組みたい



録画を配信

観光の方針

問 今後どのような方針で観光に取り組みたいのか。

町長 引き続き感染防止対策に細心の注意を払い、ロングラン開催など含め、各イベントを可能な限り平常時に近い状態で開催できるよう、環境整備に取り組みたい。

新たな観光資源

問 観光に文化財資源を活用する計画だが、どのような方針か。

町長 指定文化財、アウトドア、紅花など数々の資源を、新たな観光資源として磨き上げたい。

商工観光課長

文化財の活用は、教育委員会とも連携しながら、計画期間内に何らかの形で取り組めるよう検討したい。

文化財の周遊観光

問 白鷹町の文化財を見てほしいという声をいただいた。あゆむやあゆみしるなどを観光拠点施設として進めてはどうか。

商工観光課長

以前の寺社巡りマップなどと共に、周遊ルートなど検討したい。
町長 文化は幅が広く、具体的に対象を決めることが必要。身近なものを選び起こして磨き

上げることに、もう少し力を入れたい。

文化財の調査活用

問 文化財の調査活用に関して、山形県では文化財保存活用大綱を令和4年3月に策定した。文化財保存活用地域計画の策定に向けて町の方針は。

教育次長

大綱には、市町村による文化財保存活用地域計画の作成の推進について盛り込まれている。中長期的な視点で検討したい。

観光資源の磨き上げとは

問 観光資源の磨き上げとはどういう活動を指すのか。

町長 単品で磨き上げるのではなく、線で結び、面で受け入れることが一番大切と思う。

商工観光課長

民間団体、町民の皆様との連携も必要であ



観光への活用が期待される文化的資源(瑞龍院)

る。それらを結びつけるために、行政による広報あるいは施策の展開も必要と思う。

情報戦略

問 誘客促進にあたり情報発信は重要である。どのような方針か。

町長 これまでの取り組みと併せて、さらなる情報発信が必要と認識している。未来につ

ながる持続可能な観光を目指したい。

問 情報が集まる仕組みを検討するべきではないか。

商工観光課長

関係する方々に情報をいただきながら発信する必要があると考えている。今後どういった仕組みづくりができるかも含めて検討したい。

横山和浩 議員



令和3年度補正予算

8789万円を追加し、令和3年度一般会計は104億1389万円に。

●補正予算の主なもの

公共施設整備基金元金積立	1億円
減債基金元金積立	5000万円
防火水槽新設工事	600万円
その他、事業費の精算による減額など	

条例

●白鷹町税条例等の一部改正

令和4年度に限り、商業地などの固定資産税の負担軽減の措置などを行うもの。

●白鷹町国民健康保険税条例の一部改正

負担の公平性を図るため、課税限度額を引き上げるもの。

ほか

契約（全て指名競争入札）

●白鷹町鷹山地区拠点施設整備工事

契約金額	3億3330万円
契約の相手方	共栄建運株式会社 代表取締役 新野 吉彦

●除雪機械格納庫整備工事

(大型車両6台、歩道除雪機25台を格納 鷹山地区コミュニティセンター敷地内)	
契約金額	9350万円
契約の相手方	衣袋建設株式会社 代表取締役 衣袋 修喜

●東根小学校長寿命化工事

契約金額	9383万円
契約の相手方	丸ト建設株式会社 代表取締役 村上 栄一

●令和3年度 2年災公共第6659号 町道深山栃窪黒鴨線道路災害復旧工事

(令和2年7月の豪雨により崩壊した道路の
復旧工事 掘削工やブロック積工など)

契約金額	6540万円
契約の相手方	株式会社鈴木工務店 代表取締役 鈴木 洋
工事場所	大字栃窪地内

●令和3年度 2年災公共第6661号 町道湯ノ沢線道路災害復旧工事

(令和2年7月の豪雨により欠損した道路の
復旧工事 大型ブロック積工など)

契約金額	9350万円
契約の相手方	株式会社鈴木工務店 代表取締役 鈴木 洋
工事場所	大字下山地内

要望がかなうことを期待する

令和5年度重要事業要望について説明を受けた。

13ページに関連記事

町当局の説明

【概要】

新規1件、継続16件、合計17件の要望事項について説明を受けた。新たに追加した項目は、有害鳥獣対策への支援、昨年の要望から削除した項目は、消防力の確保・強化のための支援充実（国の交付金で対応されたため）と県立荒砥高校魅力化計画の推進への支援（別枠で対応されたため）となる。

質疑

成果が出た事業

【委員】近年、要望し、成果が出た事業はどのようなものがあるか。

設置場所として前向きに検討しているのは、我が町以外にはないと認識している。

その他の説明
○ 有限会社ケイエスしらたかの経営状況

有害鳥獣処分場

【委員】有害鳥獣処分場の設置について、置賜地区内で候補地があるのか。

【町長】具体的なものはないが、置賜広域行政事務組合所有の遊休地があれば、検討することもあると思う。



長年の要望がかなった白鷹大橋

特別委員会設置

ふるさと森林公園再整備特別委員会を設置

目的：ふるさと森林公園の再整備及び運営に関する調査研究を行うこと

委員長：山田 仁 副委員長：竹田雅彦 委員は議長を除く全議員

設置の背景：

ふるさと森林公園の再整備に関しては課題も多く、またサウンディング型市場調査の報告を踏まえた観光施設に係る指定管理の方向性が示され、新たな視点も加えての議論も必要となったため。

これまでは所管の産業建設常任委員会での議論でしたが、特別委員会設置により全体での議論ができるようになりました。委員会の内容は随時議会だよりに掲載いたします。



産業建設常任委員会 6月14日

若者流出の歯止めとなるか

子育て支援住宅・若者定住促進住宅整備基本構想について説明を受けた。

【背景】

結婚後に住みたいアパートの不足により若者の流出が止まらない。ニーズに合った町営住宅の整備が必要。

【概要】

- 整備予定地
鮎貝地区「公営住宅 神明アパート」周辺
- 整備規模（R5～7）
- ①子育て支援住宅 12棟
- ②若者定住促進住宅 3棟・18戸
- 概算事業費 7億7750万円

質疑

議論は生かされたか

【委員】どのような議論があり、構想に生かされたのか。

【当局】

住宅施策に特化して、若者定住促進住宅と子育て支援住宅について議論し、整備構想について検討した。

住環境のポイント

【委員】住環境を整える際、重点的に考えているポイントはありますか。

【町長】住宅周辺に買い物できる場所や医療機関があれば住環境は素晴らしくなる。何とか取り組めたらと考えている。

柔軟な対応を

【委員】単身世帯から夫婦世帯、夫婦世帯から子育て世帯になった際、すぐ退去とならないような柔軟な入居条件も必要ではないか。

【当局】要件の見直しは今後検討したい。

用地取得

【委員】地権者に用地取得予定金額で理解していただけるのか。

【町長】交渉はこれから。不動産鑑定をし、ルールを踏んで取り組みたい。

【委員】町営住宅退去後、四季の郷の土地売買も考えてはどうか。

【町長】相談があればさせていきたい。



町内観光施設の方向性がでる

サウンディング型市場調査報告書を受けての観光施設の方向性について説明を受けた。

【基本的方向性】

- ①公募での民間事業者への指定管理移行。
- ②指定管理の期間は、民間の投資回収を考慮し5～10年で検討。
- ③インパクトのあるコンテンツ強化。

【指定管理の方向性】

- ①ふるさと森林公園 町民保養センターは、公共性の施設として町民の利便性等を考慮し進める。他は収益性の施設として民間事業者の意向も踏まえ進める。
- ②伝統工芸の村 地元との連携・協力が必要不可欠であり、総合的に検討し決定する。

質疑

公共性

【委員】温泉施設の町民保養センターとして公共性をどうするか。

【町長】安定的に経営していく保養センターとして、いろいろな角度から研究し、方向性を議論し進みたい。

【委員】民間への指定管理が進むと、アルカディア財団の立ち位置はどうなるのか。

【副町長】来年度まで指定管理期間があり、その間はお客様のニーズに添えて、喜んでいただけよう努力をしたい。その後は公益的な部分を中心に取り組んでいくことになると思うが、理事の方々からのご意見をいただいで検討したい。

【委員】財団そのものは、そのまま組織を残した形で運営していくということか。



【町長】公共性が高いものは引き続きやっていきたい。一般財団法人として残していくという考え方で進みたい。

その他の説明
○飼料価格高騰に伴う畜産農家への支援
○一般財団法人白鷹町アルカディア財団の経営状況

ゼロカーボンシティの達成に向けて

環境基本計画とエネルギー計画の策定について説明を受けた。

【背景】

現行の計画は、共に令和4年度末で終了することから次期の「第3次白鷹町環境基本計画」、「第2次白鷹町エネルギー計画」を策定する。

【目的・概要】

○環境基本計画
今後の環境施策を総合的かつ計画的に推進するため、地域環境の望ましい将来像や施策の方向性を示すもの。
○エネルギー計画
再生可能エネルギーの導入や効果的な普及省エネルギーの推進などを行うための基本的施策を定めるもの。

質疑

目標に対する結果をどう扱うのか

【委員】第1次エネルギー計画における二酸化炭素削減目標に対する結果をどう扱うか。

【当局】前回の内容を精査し、課題を抽出し、今後の目標に反映したい。

策定メンバーと町民アンケートは

【委員】計画策定懇話会のメンバーと、開催予定、アンケートをどのように考えているか。

【当局】メンバーは環境分野のほか、農林・商工分野など10名程度で、開催は5回程度を予定している。アンケート



は今後の施策の中で必要とされる案件についてお聞きする内容としていた。

その他の説明
○子育て世帯生活支援特別給付金など

具体的に進み始めた6次産業化施設

6次産業化推進拠点施設整備（基本構想）について説明を受けた。

【概要】

○場所…「食と農村交流施設」周辺
○建物…約120坪
○事業費…約2500万円
○管理体制
①指定管理制度での民間事業者による運営
②使用料（想定）
共同利用設備
500円/時間
工房スペース
2〜4万円/月
○支援体制
コーディネート及び活動支援員（仮称）を配置し、商品化などの取り組みや相談窓口として支援する。

質疑

使用料

【委員】工房スペースの月額使用料に幅があるが、使う人によって設定していくのか。

【当局】使用料が違うのは課題があり、2万円から4万円の中で一律に設定したい。

他業者との連携

【委員】町内の食品加工業者や、どりいむ農園直売所との連携をどう考えているか。

【町長】どりいむ農園直売所での口コミは効果がある。食品加工業者からは、食品加工についてご指導いただけるチャンスを作るよう努力したい。

利用者募集

【委員】工房スペース利用者の募集にあたっての応募資格はあるか。

【町長】資格というよりも中に入っていたり、営み始めてから考えていきたい。



1億円で負債を圧縮



事業報告

一般財団法人 白鷹町アルカディア財団

理事長 田宮 修

◆概要 令和3年度は、令和2年度の決算を受け、一般正味財産期首残高がマイナス1億2千万円と指定正味財産を上回る状況からのスタートとなった。

令和2年度に策定した「戦略推進プラン(兼)中期利益計画」及び「職員研修計画」に基づき、持続可能な経営に取り組むと共に、新たに町から交付した出捐金1億円を指定正味財産に組み入れ、既存の指定正味財産から1億円を一般正味財産に振り替えて負債を圧縮し、財務体質の改善を図った。

◆収益高 宿泊・飲食部門の売り上げ増、宿泊・飲食部門への各種支援策の活用、新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター業務などの受託、指定正味財産から振り替えた受取寄附金などにより、経常収益合計は3億3226万円(前年度比1億3443万円の増)であった。経常費用合計は2億6510万円(前年度比1272万円の増)となり、当期損益は6708万円の黒字、繰越欠損金は5318万円。

○主な事業の利用者数	()は前年比
宿泊	3766人 (1140人増)
宴会	4991人 (2095人増)
レストラン	5996人 (1021人減)
もりもりハウス	227人 (187人減)
スキーセンター	3024人 (262人増)
入湯	4万5070人 (6739人増)
野外施設	3万8134人 (1083人増)
○主な事業の売上金額	()は前年比
宿泊	3196万円(703万円増)
飲食	3062万円(670万円増)
入湯	1008万円(166万円増)
スポーツ施設	789万円 (1万円増)

※万円未満は端数調整

町立病院の業務を受注 職員数は36人

有限会社ケイエスしらたか

代表取締役 藤島 丈

■主な業務受注状況

◇白鷹町立病院

医療事務・事務宿日直・調理業務・
電算保守等・事務補助

■理事・職員数(令和4年3月31日現在)

◇理事・・・2人(非常勤・無給)

◇職員・・・36人(増減なし)

病院医療事務員・・・16人(1人減)
電算管理・・・2人
病院施設管理・・・5人(1人増)
病院調理師・・・9人
病院事務補助・・・4人

※()内は、1年前との比較

■令和3年度決算

◇事業収益 1億3268万円
◇事業費用 1億3248万円
◇当期純利益 4万円

※万円未満は端数調整

町民生活向上に 17項目の要望

6月23日、今野議長は佐藤町長とともに山形県置賜総合支庁を訪れ、「令和5年度重要事業要望書」を置賜総合支庁長に手渡しました。1項目の新規事業を含む重要事業17項目について、県の支援を要望しました。



		要望事項	現状・要望理由
17	新 規	有害鳥獣対策への支援 1. 広域的な被害防止対策につながる自治体間の連携及び調整を図る体制づくりと支援策を講じること 2. 有害鳥獣捕獲後の処分に係る負担軽減のため、広域を対象とする処理施設整備、運搬車両の導入に対する支援を図ること	①近年、クマ、イノシシなどの野生鳥獣による農作物被害は拡大傾向にあり、営農に多大な支障が生じている。 ＊イノシシの年間捕獲頭数 平成30年度：4頭 → 令和3年度：33頭 ②町では、鳥獣対策協議会を通じてさまざまな支援を行い、被害の軽減に取り組んでいるところである。 ③有害鳥獣捕獲後について、置賜地域内に処理施設がないことから、一部の自家消費を除き埋却処理を実施している。豚熱感染イノシシへの対応も含め、埋却場所の確保など、捕獲後の処分に係る負担が増大している。
	継 続	2 白鷹高等専修学校への支援	継続事業の現状と要望事項については、議会だより第151号を参照してください。早期に要望がかなうことを切に望みます。
		3 デジタル化推進のための環境整備充実	
		4 人口減少対策に対する支援	
		5 地方交付税総額の確保充実	
		6 地域公共交通に対する支援	
		7 過疎対策事業債の必要額確保	
		8 地域医療の確保	
		9 新型コロナウイルス感染症対策への継続支援	
		10 グリーン社会の実現に向けた施策の充実	
		11 木材の安定供給体制構築の支援強化	
		12 森林境界明確化事業に対する支援	
		13 国道348号の高規格化による再整備	
		14 主要地方道長井白鷹線道路改築事業の推進	
		15 国道287号道路改築事業の整備促進	
		16 長井～白鷹間西廻り幹線道路整備の早期着工	
		17 GIGAスクール構想による個別最適な学びの充実	



追跡 レポート

— あの質問のゆくえ —

家庭用蓄電池への補助

今後、家庭用蓄電設備の需要が増えると考えられる。町独自の補助を導入する考えはあるか。

(令和3年6月議会)

答弁

県は、令和3年度から蓄電池を設置する場合の補助を新設している。県の状況を見ながら、検討していく。

どうなった

令和4年度より補助対象となり、支援が拡充された

町では、再生可能エネルギー導入への支援として、平成25年度より太陽光発電設備、平成27年度より木質バイオマス燃焼機器の設置に支援を実施してまいりました。

県においても再生可能エネルギー導入に対して支援を行っており、令和3年度より太陽光発電設備で利用する蓄電池についても補助対象となるよう、補助の内容が変更されました。

これらの状況を踏まえ、令和4年度より町でも蓄電池を補助対象としました。県と同様に、太陽光発電設備と同時に蓄電池を導入する場合および既に設置している太陽光発電設備で利用するため後から蓄電池を単独で導入する場合、補助金を交付してお

ります。家庭用と共に事業所用も補助対象としています。

白鷹町は令和3年11月にゼロカーボンシティを宣言しました。地球温暖化対策において、再生可能エネルギーを利用する設備の導入は大きな役割を果たしますので、引き続き導入を支援してまいります。

【町民課】



補助対象を拡大し、県内でも特に充実した補助内容となった。
制度を周知し、更なる利用促進を図りたい。



知れば得する “ぎかい” のキホン

第11回

意見書・決議

議会では、意見書や決議という形で、議会の意思を示すことがあります。どんな目的なのか、どう違うのか、見てみましょう。

意見書

町民の皆様からの請願や陳情、あるいは議会の意思を、議会の意見や希望として文章にまとめたものが「意見書」です。

国に提出できる

意見書は、議員発議により採択されるもので、国会や関係行政庁などに提出することができます。（地方自治法第99条）
意見書に法的拘束力はありませんが、議会の総意として尊重されます。

決議

意見書と近いものに、「決議」があります。こちらは、議会の意思を対外的に表明するものです。

意見書と違い、決議に法的な根拠はありません。

議会の意思を表明することで政治的效果を期待する、そのような取り組みとなります。

なお、意見書、決議とともに、私たちの生活に大きく影響するような事項を主に取り扱います。

議決

決議と似た用語に「議決」があります。こちらは、議案などを審議して可否を決定し、議会の意思を決めることを指す言葉です。決議を議決する、という言葉の使い方になります。

白鷹町の事例

直近では「ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議」（令和4年3月9日）を議決しました。

ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議

2月24日、ロシアは、世界中の平和を望む切なる願いに反し、ウクライナへの侵略を開始した。さらに現在は、核の力を背景に国際社会の安定を一層脅かしている。

ロシア軍の侵略により多くの人々が住み慣れた地を追われ、避難を余儀なくされている。武力攻撃は居住地にも及び、幼い命が奪われるなど罪のない民間人にも被害が広がっている。

このようなウクライナの主権と領土を侵害する行為は、明らかに国際法、国連憲章に違反している。

また、今般のロシアの行動は、欧州にとどまらず、海を挟んで対面する日本はもとより、アジアを含む国際社会の秩序の根幹を揺るがしかねないもので、断じて看過できない。

よって、白鷹町議会は、ロシアのウクライナへの侵略に対し断固抗議するとともに、即時無条件でのロシア軍の完全撤退を強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月9日

白鷹町議会

議会の意思の表明

意見書	<ul style="list-style-type: none"> 法的根拠がある 議会の意思を国会などに提出できる
決議	<ul style="list-style-type: none"> 法的根拠がない 議会の意思を表明することで、政治的效果を期待する

わたしも励みになります。



長谷部 真弓 さん (蚕桑地区)

輝く地域の力 白鷹の未来を彩る

… 子どもたちの成長のために …

白鷹町少年少女合唱団、白鷹町初のミュージカルワークショップで指導をされている長谷部真弓さんにお話を伺いました。

始めたきっかけは

合唱団は、白鷹町教育委員会からの依頼があり、お引き受けすることになりました。

活動内容は

合唱団は、2008年から、ミュージカルは2012年から行っています。

練習は、月2回夕方から活動しています。

ミュージカルワークショップは、自分の体験から始めました。飯豊町のミュージカルに参加したら思った以上に楽しくて、はまってしまい、白鷹町でもできないか、子どもたちに声をかけたのがきっかけです。

夫に感謝

ミュージカルは夫にも協力してもらっていて感謝しています。音楽分野は私、台本や美術系は夫と、役割を分けています。家でけんかした後だと、少し気まずいですよ(笑)

子どもたちの成長

初めて入ってきたときは、真つ白で純粋な子どもたちが、練習を重ね、発表会に出場すると、自信がついてどんどん成長していくのがわかります。指導している私も励みになります。

参加は大歓迎

入ったら楽しかった、参加して子どもが変わった、という声をいただくことができます。活動が何かの良いきっかけになればうれしいです。

コロナ禍の影響などで両団体とも参加者が減りましたが、みんな教えたことを素直に吸収していくので、指導にも力が入ります。居場所の無さを感じる子どもさんも含めて、一緒に活動してくださいませ。まずは見学においでください。(練習日

は教育委員会にお問い合わせください)



議会へひとつ

議員の方々も、ぜひ子どもたちの姿を見ていただき、励ましていただきたいと思います。その一言が無数の成長につながると思います。

取材を終えて

生き生きとした子どもたちの姿とそれを指導されている長谷部さんが目に浮かびます。子どもたちがこの経験をおして、将来大きく羽ばたいてほしいものです。(金田)

編集後記



この議会だよりが町民の皆様が届くころには、新しい参議院議員が誕生しています。極めて困難な時代。山形のため、国民のための政治に期待します。

新型コロナウイルス感染症は、依然として油断は禁物です。常日頃の感染症対策をしっかり行いながら、経済活動の再開を望みたいものです。

真夏の季節になりました。熱中症にも十分気をつけてお過ごしください。(金田)

広報委員

- 委員長 菅原 俊一
- 副委員長・編集長 金田 悟
- 委員 丸川 雅春
- 委員 竹田 雅彦
- 委員 横山 和浩
- 印刷 (有)梅津印刷



お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。